



メイドの嗜好^{たしな}み
Preview

はあ、
終わった…

ご主人様、
本日の執務も
お疲れさまでした

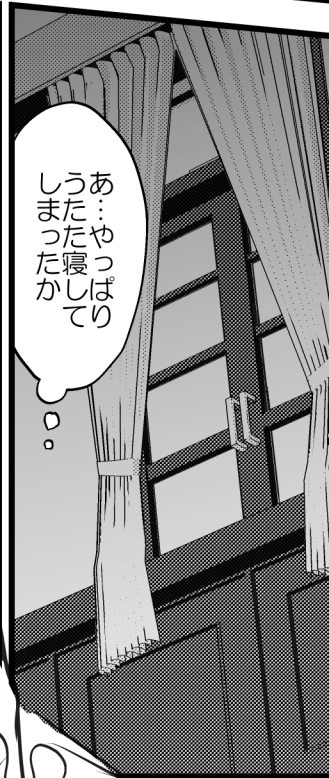
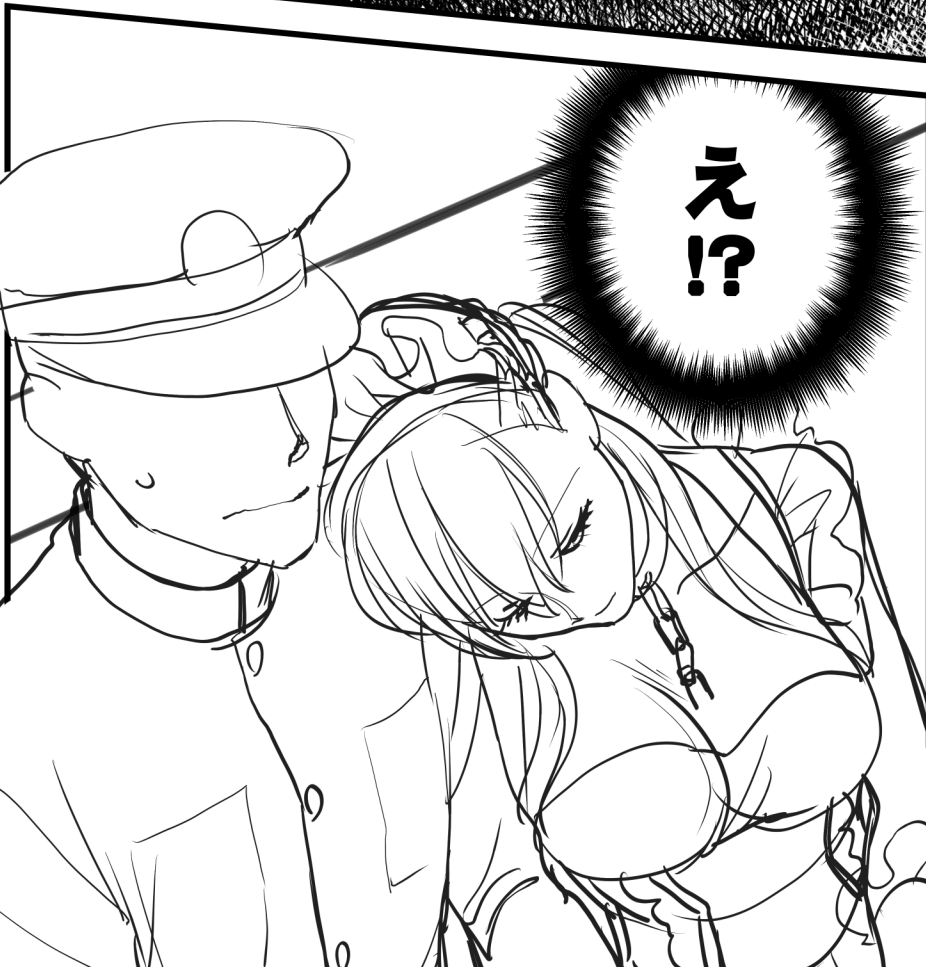
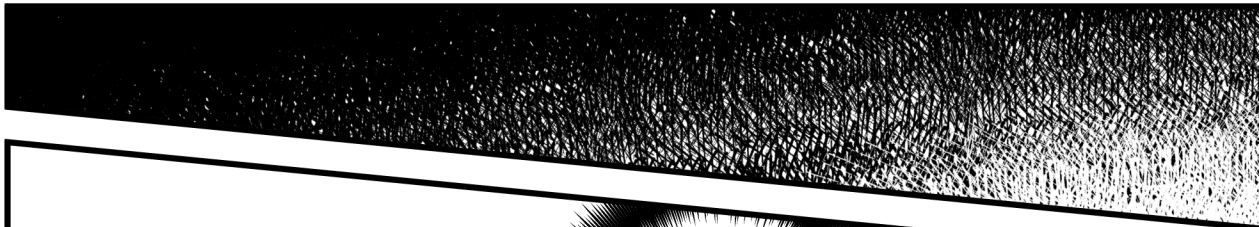
ベルファストさん…
ありがとうございます

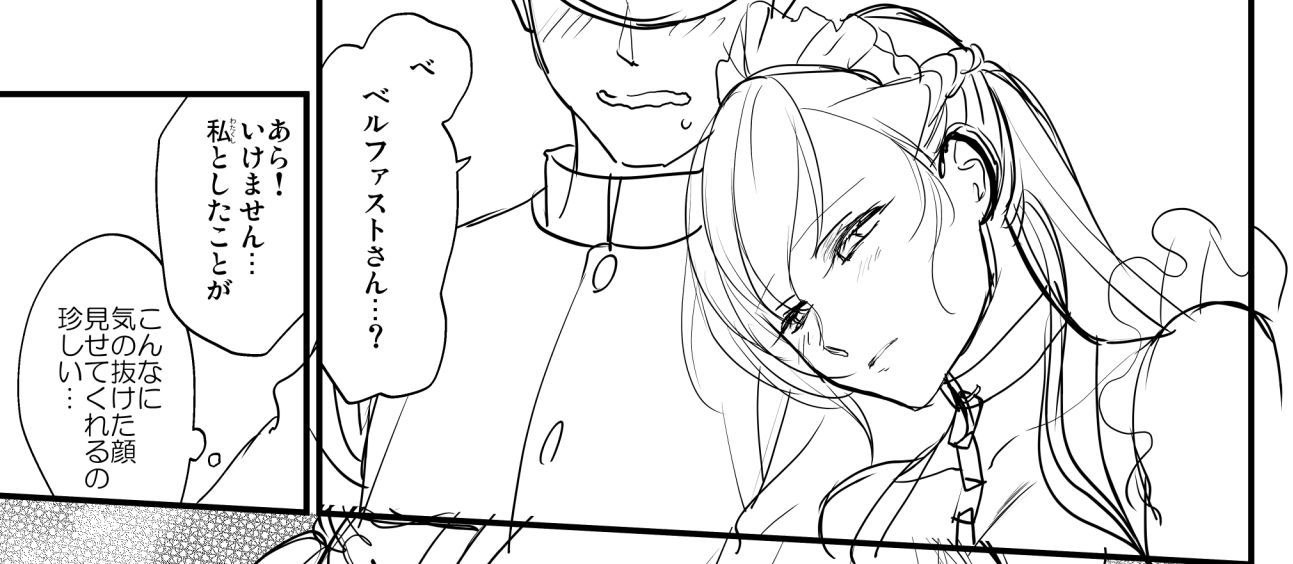
夜も更けて
まいりました

紅茶を用意
いたしましたので、
よろしければどうぞ

わ！

ありがとう
いただくよ

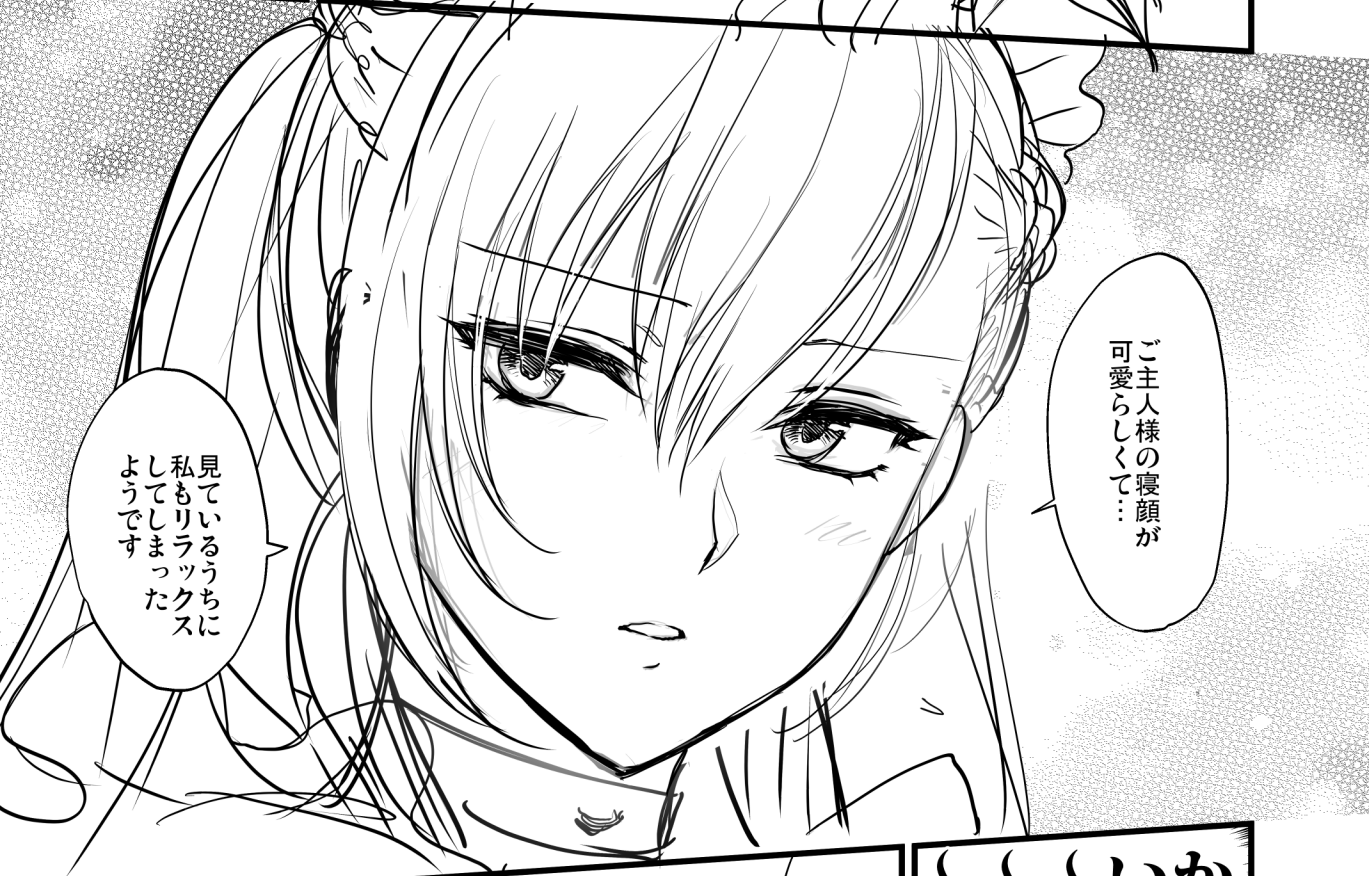




ベルファストさん…？

あら！
いけません…
私としたことが

こんな
抜けた
顔の
珍見
しい…

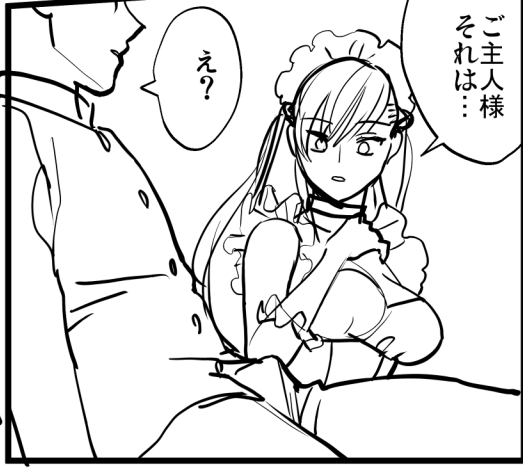


ご主人様の寝顔が
可愛らしくて…

見ているうちに
私もリラックス
してしまっ
たよう
です



わろ!!
これは朝勃ち…
っていうか
疲れ魔羅
みたいな!!?

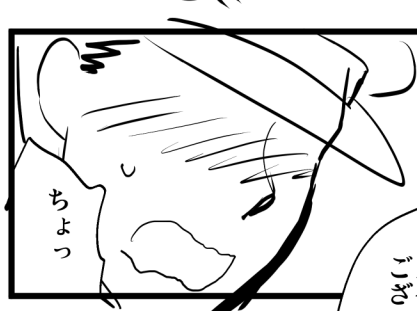
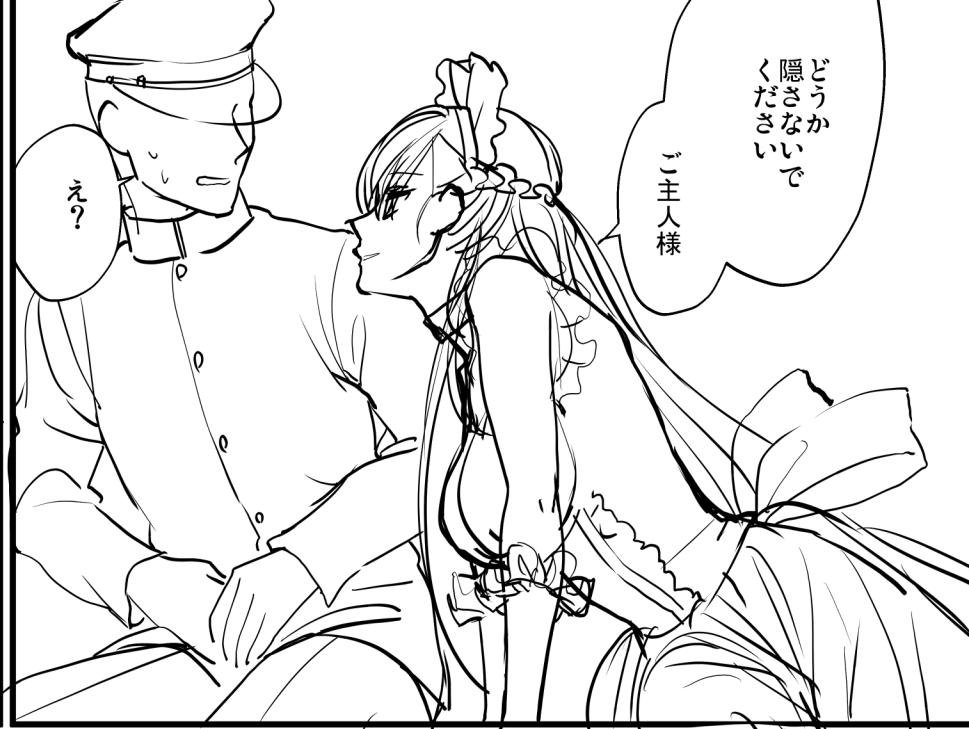


え？

ご主人様
それは…



い
か
わ
い
わ
!!





痛いなんて…

もし痛かったら仰ってくださいね

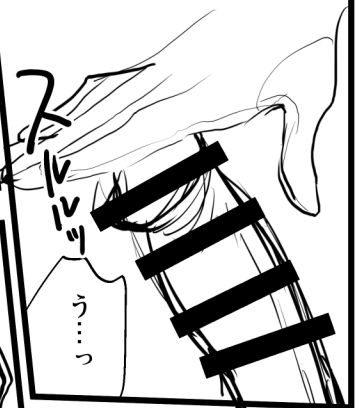
ああっ



うわわ



優しく擦り上げて



スルッスルッ
う…う



な
なんて…
繊細な触り方



スリ
スリ

ん。ん。

うふふ…
いかがですか？



はい

ベルファストはここにおりますよ

あ…っ
ベルファスト、さん…

すみん
上手…ううか
こんなに気持ちいいなんて…

ダメだ
すぐ出そう…



もしかして
ご主人様は
汚れた私を見て
さらに興奮
なさったのでは？

そのような
どうしようもない…
大変「変態的」な趣味を
お持ちであるとは

私も予想をして
おりませんでした



うあ！
ごごめんなさい
ベルファストさん！！

顔に
かけちゃって…

し…しかも
飲み込んだ…！

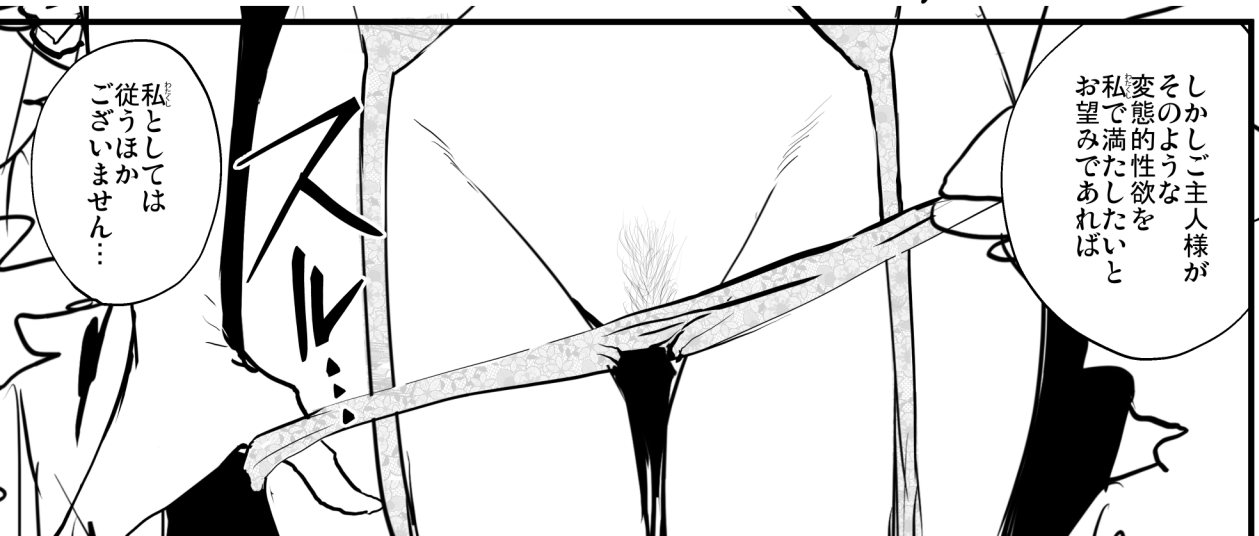


あら！
口ではそう
仰っていますが
ご主人様

そちらは
まだ随分と
荒々しいご様子…

う…っ
ご…これは…

まさか飲んで
くれるなんて…
嬉しすぎるから…



しかしご主人様が
そのような
変態的性欲を
私で満たしたいと
お望みであれば

私としては
従うほか
ございません…

* ぴゅー一本
です。

Maid knowledge
Azurlane Fanbook

Syokaki by earthean
20171112Sun Azuren-Musou